

最新 老年看護学 第3版 2020年版 (2020年2月1日付発行) 更新箇所一覧表

*原則として、本文および図表の数値データ更新、法律やガイドラインの改正等に伴う記述の変更、加筆の必要が生じた事項の更新を中心に行っています。

*本文および図表の更新内容について、更新/追加/加筆/修正/変更/入替で分けています。

*執筆者一覧(所属)、文献情報、索引、奥付等も更新しています。

第1章 老年期を生きる人の理解				
C 老年期における健康				
2 高齢者の健康状態	16頁5行	統計更新	簡易生命表	
	17頁2-12行、表1-6・表1-7	統計更新	患者調査	
D 高齢者の社会生活				
1 高齢者人口の推移	19頁5行・18行、20頁・図1-4	統計更新	人口推計(高齢者人口・高齢化率)	
	20頁2行、21頁・図1-5	統計更新	日本の将来人口推計	
2 高齢者の社会生活	21頁8行-17行、22頁・図1-6	統計更新	国民生活基礎調査、日本の世帯数の将来推計	
	23頁11行	統計更新	被保護者調査	
	23頁下から4行	統計更新	労働力調査	
	24頁9行-25頁10行、表1-7	統計更新・入替	国民健康・栄養調査、表1-7(生涯学習に関する世論調査)、高齢者の住宅と生活環境に関する調査	
	26頁20行-27頁2行	統計更新	高齢者の交通事故死者数、振り込め詐欺の認知件数・被害総額の推移、高齢者の消費者被害、65歳以上の火災による死者数	
第2章 世界における日本の老年看護				
A 老年看護の歴史				
2 日本における老年看護の歴史	34頁3行	統計更新	人口推計	
	36頁6行・16行	統計更新	老人看護専門看護師・認知症看護認定看護師の教育機関数・登録者数	
C 世界の老年看護のパイオニアとしての展望				
1 健康長寿国の老年看護を世界へ発信	44頁3行	統計更新	簡易生命表	
4 老年看護領域の看護師の役割拡大と連携	48頁7-17行	加筆	専門看護師教育課程数・登録者数、ナースプラクティショナー教育課程数	
	48頁ナレッジボックス	変更	高度実践看護師教育課程: ナース・プラクティショナー → ナースプラクティショナー	
5 高齢者ケアの人材育成体制の整備	49頁9行	統計更新	看護系大学数・修士課程数・博士課程数	
第3章 老年看護の倫理的課題と対応				
C 高齢者虐待をめぐる倫理的課題				
	62頁・図3-3	修正	(モニタリング) → (モニタリング)	
	64頁・表3-5	修正	2カ所/経管栄養チューブ → 経管栄養チューブ	
第4章 心身の加齢変化と健康アセスメント				
B 身体機能・構造の加齢変化と生活への影響				
1-2 聴覚機能	95頁・図4-8	変更	三半規管 → 半規管	
	96頁4行	変更	三半規管 → 半規管	
	96頁5-8行	加筆	直線加速度、回転運動の加速度(角加速度)、耳石の変性変化	
4 呼吸器系	106頁2-9行	統計更新・加筆	高齢者の死因(文章整理)	
5 循環器系	110頁8-12行	加筆	左室壁の肥大、拡張能低下	
	112頁14-15行	加筆	転倒の内的要因	
7 腎・泌尿器系	118頁-119頁	修正	骨盤底筋 → 骨盤底筋群 (本文・3カ所、図4-18・2カ所)	
	119頁9-10行	加筆	日常生活への具体的影響	
C 心理・精神機能の加齢変化と生活への影響				
1 知能	126頁14行	追加	(流動性能力, fluid intelligence)、	
	126頁16行	追加	(結晶性能力, crystallized intelligence)	
2 記憶	129頁18行	変更	エピソード記憶の例	

第5章 老年期に特有な健康障害と看護

A 高齢者の健康障害の臨床的特徴			
3 廃用性症候群(生活不活発病)	145頁下から4行	修正	単独世帯(28.9%) → 単独世帯(29.0%)
	147頁下から9行	更新	閉じこもりの出現率〈文献40〉に変更)
B 主な健康障害と看護			
1 脱水症・熱中症	153頁下から5行	変更	加齢に伴う体細胞数の減少によって → 加齢に伴う筋肉量の減少によって備蓄水分である
	153頁下から4行	変更	体内総体液量は約50% → 50~55%
	155頁・表5-9〈ヘマトクリット値〉	修正	高張性脱水:上昇 → 正常 低張性脱水:正常 → 上昇
	155頁・表5-9〈血中尿素窒素/クレアチニン比〉	修正	高張性脱水:高度上昇 → 軽度上昇 低張性脱水:軽度上昇 → 高度上昇
	157頁10-15行	変更	応急処置としては、ERIF~~~身体の冷却を行う。 → 応急処置はFIRE~~~ERIFと逆から行う。
7 睡眠障害	181頁下から5行	修正	米国睡眠学会 → 米国睡眠医学会
	186頁7-8行	加筆変更	交感神経活動を高める熱い湯は避ける。
	186頁	追加	Column「睡眠と就寝前の入浴方法」
8 転倒	187頁3行	変更	自分の意思によらず → 自分の意思からではなく
	187頁8-11行	統計更新	人口動態調査 転倒・転落 → 転倒・転落・墜落
	190頁下から3-1行	更新入替	高齢者の転倒リスク状態に合わせて、介護予防・日常生活支援総合事業における一般介護予防事業、介護予防・生活支援サービス事業を活用することも可能である。
9-1 骨粗鬆症	193頁・表5-23	追加	ヒト化抗スクレロシンモノクローナル抗体薬
14-2 結核	214頁1-4行	更新	結核罹患率
14-3 ノロウイルス感染症	214頁下から4行	変更	5類感染症 → 5類感染症定点把握疾患
14-4 疥癬	216頁6行	加筆	耳介 → 耳介を含む全身
C 治療を受ける高齢者への看護			
1 薬物療法と看護	217頁3行	追加	服薬アドヒアランス → 服薬アドヒアランス(adherence)
	220頁・表5-37〈ジギタリス〉	追加	ジギタリス中毒 → 悪心・嘔吐、不整脈等のジギタリス中毒

第7章 認知症高齢者の看護

A 認知症の動向と制度			
1 日本における認知症対策の動向	270頁下から4行	修正	軽度認知機能障害 → 軽度認知障害
	271頁・表7-1	追加	2019(令和元):認知症施策推進大綱
	271頁	統計更新	Column:認知症サポーター数
	272頁・表7-2	追加	認知症施策推進大綱
	272頁11-19行	追加	認知症施策推進大綱
	273頁8行	統計更新	研修受講者数
	273頁10-13行	追加	認知症施策推進大綱
B 認知症の理解			
3 認知症との鑑別が必要な状態・疾患	282頁下から7行	修正	軽度認知機能障害 → 軽度認知障害
	283頁・図7-3・見出し「b」・注	修正	軽度認知機能障害 → 軽度認知障害
F 認知症高齢者と取り巻く人々へのアプローチ			
3 日常生活の自己決定を支える多職種スタッフへのアプローチ	313頁下から10-1行	加筆変更	「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」の解説

第8章 高齢者の人生の最終段階における看護

A 老いと死			
4 高齢者の尊厳ある生を支えるエンドオブライフケアの仕組みづくり	333頁	追加	Column「人生会議」
C 高齢者のエンドオブライフケア			
3 高齢者のエンドオブライフケアの意思決定プロセス	341頁・図8-4	変更	〈表現を変更〉
	341頁7行	変更	プロセスを設定し → プロセスを認識し
	341頁・見出し	変更	②意思の推定・家族の意向 → ②推定意思を考え、家族の意向を確認する
	342頁・見出し	変更	③多職種チームでの価値判断 → ③多職種チームで価値判断する

第9章 高齢者の暮らしを支えるヘルスケアシステム

A 高齢者を取り巻く社会の変化と法律ヘルスケアシステムの変遷			
	353頁・表9-1	更新追加	18年・19年の項目
B 高齢者の暮らしを支える法律と制度・サービス			
3 介護保険法と制度・サービス	366頁・表9-5	追加	「●施設サービス」の表